

議会だより



めざせ全国大会！（一宮尚武会）

第164号
2017.8



町のホームページで議会だよりや議会の
会議録等を見ることができます。

<http://www.town.ichinomiya.chiba.jp>

一宮議会だより

検索

JAグリーンウェーブ選果機入替事業 箱詰ロボットを追加導入

2P~3P ● 6月定例議会で決まったこと

4P ● 4月臨時議会で決まったこと

5P ● 議会審議賛否一覧

6P~13P ● 一般質問

14P ● 編集後記



QS 6000 国際サーフィン大会

平成29年第2回一宮町定例議会は、6月22日に開催され、町長の行政報告をはじめ、請願2件、一般質問は、8名の議員が行いました。

また、議案として、報告1件、補正予算2件、諮問案1件、同意案7件の他、意見書提出の発議案2件が提出され、同意案1件を除き、原案どおり可決しました。

平成29年度 補正予算の概要

6月定例会

一般会計補正予算の主なものは、町営住宅の屋上防水工事、農業機械の購入補助、JAグリーンウェブの選果機入替事業の予算組み替え、コミュニティー助成事業などの追加のほか、補助事業が不採択となった町内循環バスを町単独で実施できるよう補正しました。

各補正予算の主な内容は、次のとおりです。

※概算単位：万円（1万円未満四捨五入）

会 計	補正額	補正後 予算総額	補正の主な内容	
一般会計補正予算 (第2次)	9,034	475,331	<ul style="list-style-type: none"> 町内循環バス運行実験事業 (補助事業を△240万円、町単独事業284万円に組み替え) コミュニティー助成事業 (衣装等) 保育所バス運転代行委託 (シルバー人材センターから専門業者へ) 経営体育成支援事業補助金 (コンバイン・田植え機等購入補助) JAグリーンウェブ選果機入替事業 (強い農業づくり 交付金△39,563万円、産地パワーアップ事業46,526万 円に組み替え) 特定用途制限地域図書作成委託 (特定用途地域の図面作成) 中央ポンプ場沈砂池仕切り壁改修工事 (老朽化した壁の改修) 町営住宅屋上防水工事 (大村2階建て町営住宅の雨漏り改修) 	44 120 152 490 6,963 200 197 317
介護保険 特別会計補正予算 (第1次)	96	104,437	<ul style="list-style-type: none"> 高額介護予防サービス相当事業 (利用者増加による) 成年後見制度利用支援事業 (申請者増加による) 	3 93

推薦

人権擁護委員に次の方が推薦され、議会で適任と認められました。

小関 義明さん（稲荷塚）

同意

これまで農業委員は選挙により選ばれてきましたが、農業委員会等に関する法律の一部改正により、町長が議会の同意を得て任命することに、7名の同意案が提出され、6名を同意し、1名が不同意となりました。同意された方は、次のとおりです。

井桁 繁 さん（新地）

関 順一郎 さん（綱田）

峰島 誠 さん（岩切）

石井 理永蔵さん（12区）

田中 博 さん（14区）

小池 達 さん（いすみ市）

駅前観光施設整備事業や被災者向け経営体育成支援事業などを繰越

(報告第1号)

平成28年度内に支払いが終わらなかった町勢要覧作成事業、駅前観光施設整備事業、個人番号カード交付事業、被災者向け経営体育成支援事業、トンネル長寿命化事業、町道災害復旧事業など合わせて、1億6442万2000円が平成29年度に繰越されました。

請願

次の請願が提出され、本会議で審議の結果採択されました。

なお、採択された請願の意見書は、関係行政庁へ提出しました。

〔請願第1号〕

「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書

請願者

子どもたちの豊かな育ちと学びを支援する

教育関係団体千葉県連絡会

請願内容

平成30年度予算編成にあたり「義務教育費国庫負担制度を堅持する意見書」を政府及び関係行政庁に提出することを求める。

〔請願第2号〕

「国における平成30年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書

請願者

子どもたちの豊かな育ちと学びを支援する

教育関係団体千葉県連絡会

請願内容

平成30年度予算編成にあたり、子どもたちによりよい教育を保障するために「国の平成30年度教育予算を拡充する意見書」を政府及び関係行政庁に提出することを求める。



選果機入替が予定される
JAグリーンウェーブ

臨時議会

平成29年第1回臨時議会は、4月18日に開催され、専決処分承認2件と補正予算1件を原案のとおり可決しました。

震災等により滅失した償却資産の特例などを規定
(承認第1号)

地方税法の一部改正が4月1日に施行されたため、町税条例も改正されました。

改正点は、震災等により滅失した償却資産の特例、大規模な震災等災害が発生した場合の固定資産税の特例規定、軽自動車税におけるグリーン化特例の適用期間が2年間延長になったことなどです。

低所得者層に配慮し、軽減判定所得を引き上げ
(承認第2号)

地方税法施行令の一部を改正する政令が、4月1日に施行されたため、町国民健康保険税賦課徴収条例も改正されました。

改正点は、低所得者層の配慮として5割、2割軽減の判定所得の基準額を引き上げることに伴って軽減措置の拡充を図るものです。

平成29年度 補正予算の概要

4月臨時議会

一般会計補正予算は、上総一ノ宮駅東口開設基本調査及び町民アンケート調査と国際サーフィン大会の補助金を追加しました。

補正予算の主な内容は、次のとおりです。

※概算単位：万円（1万円未満四捨五入）

会計	補正額	補正後 予算総額	補正の主な内容
一般会計補正予算 (第1次)	3,296	466,296	<ul style="list-style-type: none"> 上総一ノ宮駅東口開設基本調査 (東口改札設置の概略設計) 3,596 東口開設町民アンケート調査委託 200 国際サーフィン大会開催補助金 △500 (補助事業不採択により、国際サーフィン大会誘致事業△1,000万円、町単独で500万円を補助)

東口開設基本調査委託料を 削除する修正動議

藤乗 一由議員

駅東口開設は、利便性だけでなく駅周辺の安全面や財政状況等にも配慮した中で、進めるべきであり、アンケートを実施したのちに、方向性を決める必要があると考えるので、基本調査委託料を削除する修正案を提出する。

討論

修正動議に対して

反対 駅東口開設を検討する中で
必要不可欠な経費

志田 延子議員

基本調査委託料は、駅東口を開設するにあたって経費がいくら必要になるかを計算するものであり、今後、東口改札を設置するのかを判断する中では、大変重要で必要不可欠な経費である。

賛成 優先順位を検討してから
進めるべきである

小林 正満議員

東口からの乗降者の利便性も重要だが、第一は神門踏切の歩行者安全を考えるのが優先である。まずアンケートを行い、その間に踏切の改善か東口開設かの優先順位を検討し、その後に東口開設の調査に移るのが正しい手順と考える。

議案審議賛否一覧

議案名	議員名	結果	議員名																				
			議決結果	賛成	反対	藤井幸恵	小林正満	渡邊美枝子	鶴沢清永	鶴沢一男	小安博之	藤乘一由	袴田忍	鶴野澤一夫	志田延子	島崎保幸	秦重悦	森佐衛	畑博敏	藤井敏憲	吉野繁徳		
第1回臨時議会 (4月18日)	承認第1号	一宮町税条例の一部を改正する条例の専決処分につき承認を求めることについて	原案承認	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
	承認第2号	一宮町国民健康保険税賦課徴収条例の一部を改正する条例の専決処分につき承認を求めることについて	原案承認	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
	議案第1号	平成29年度一宮町一般会計補正予算(第1次)議定について	原案可決	10	5	○	×	○	○	×	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-	
	動議	議案第1号平成29年度一宮町一般会計補正予算(第1次)議定に対する修正動議	修正案否決	5	10	×	○	×	×	○	○	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	-	
第2回定例議会 (6月22日)	請願第1号	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書	原案採択	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
	請願第2号	「国における平成30年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書	原案採択	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
	議案第1号	平成29年度一宮町一般会計補正予算(第2次)議定について	原案可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
	議案第2号	平成29年度一宮町介護保険特別会計補正予算(第1次)議定について	原案可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
	諮問案第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	原案適任	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
	同意案第1号	一宮町農業委員会委員の選任につき同意を求めることについて	原案同意	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	同意案第2号	一宮町農業委員会委員の選任につき同意を求めることについて	原案同意	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	同意案第3号	一宮町農業委員会委員の選任につき同意を求めることについて	原案同意	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	同意案第4号	一宮町農業委員会委員の選任につき同意を求めることについて	原案同意	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	同意案第5号	一宮町農業委員会委員の選任につき同意を求めることについて	原案同意	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	同意案第6号	一宮町農業委員会委員の選任につき同意を求めることについて	原案同意	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	同意案第7号	一宮町農業委員会委員の選任につき同意を求めることについて	原案不同意	6	8						除												-
	発議第1号	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書	原案可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	発議第2号	国における平成30年度教育予算拡充に関する意見書	原案可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

※ ○…賛成、×…反対、欠…欠席、退…退席、除…除斥、議長は、採決に加わらないため「-」で表示

どうするオリンピック 会場と周辺整備



鵜沢清永 議員

答 大会後の利用も視野に入れて



上空からの釣ヶ崎海岸

問 ① 東京オリンピック組織委員会（組織委）の森会長は「初めてサーフィンを開催する会場としてレガシー（遺産）を残してほしい」と要望された。

今の計画では、県有地は開催後元に戻すと聞くが、これではレガシーとして残すのは難しいと思う。町長の考えを伺う。

② 町長の言として「これを機に会場周辺に着替えができる恒久施設の整備を検討する」と新聞記事にあった。

具体的にどの様に考えているか伺う。

③ 知事は「準備を加速し、砂浜や道路もきれいにして清潔感ある会場にした」と言っていた。

オリンピックで問題になるのは観客の輸送面であり、会場に接続する国道等の整備は重要である。

また、会場に近い県道一宮椎木長者線は、交通量が増える一方であるにもかかわらず、工事は停滞している。早期完成を望むが、町長の考えを伺う。

町長 ① 会場は釣ヶ崎海岸広場を中心にかなり広い範囲になる。指摘の通り、大会後は元の保安林に戻す予定であり、保安林の一部（1ha程度）を自然公園の指定につけて整備することにより、大会後も残る施設を考える。

② 恒久施設として、トイレや更衣室、多目的スペースを備えた施設の建設を検討している。

③ 輸送ルートは現在、組織委、県、町で検討中である。

県道一宮椎木長者線は、これまで早期完成を要望してきたが、進捗していない。今後も粘り強く要望する。

【議長・議員が出席した主な行事】（平成29年4月～6月）

4月		5月		6月	
3日	東浪見子ども園入園式	25日	一宮町観光協会通常総会	9日	「すずみね」お披露目報告会
4日	愛光保育園入園式	28日	一宮町婦人会移動総会		議会運営委員会
5日	いちのみや保育所入所式			19日	議員全体会議
7日	一宮中学校入学式	10日	議員説明会		議会報編集委員会
	一宮商業高校入学式	12日	長生郡町村議会議長会臨時会	21日	一宮町夏季観光安全対策本部設置会議
	議員説明会	15日	つくも会グランドゴルフ大会	22日	第2回議会定例会
10日	一宮小学校入学式	20日	一宮中学校体育祭	23日	例月出納検査
	東浪見小学校入学式	21日	一宮町西部地域環境保全会総会	25日	長生支部消防操法大会
17日	招魂祭	22日	例月出納検査	26日	一宮地区防犯組合連合会総会
18日	第1回議会臨時会		定例監査（22日～24日）	27日	議会報編集委員会
19日	つくも会定期総会	25日	県町村議会議長会定例会	28日	一宮町農業振興地域整備促進協議会
20日	例月出納検査	26日	長生郡町村議会議長会定期総会		一宮町シルバー人材センター事業報告会
21日	一宮町文化同好連絡協議会定期総会			29日	社会を明るくする運動推進委員会会議
	ボランティア連絡協議会総会	4日	一宮町消防ポンプ操法大会		長生郡監査委員連絡協議会総会
24日	一宮町更生保護女性会定期総会	7日	一宮町交通安全対策協議会定期総会		
	一宮町障害者福祉会総会		オリンピック組織委員会現地視察		

一般質問

志田延子 議員

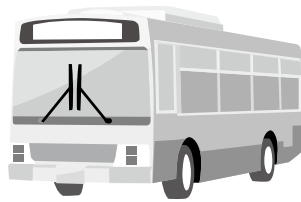


スクールバス導入の考えは

答 町に適した方法を模索する

問 町長は、「①子供の見守り隊を増強、②連れ去り事件防止のために子供たちにGPS発信機を配布、③スクールバスの導入を目指す」と言っている。

①②は進行中であるが、③のスクールバス導入の考えはあるのか。



町長 教育関係で重視する課題のひとつは、通学時の交通安全である。現地調査や保護者・見守り隊の意見や要望を聞き検討している。

児童生徒の誘拐・傷害にはGPS発信機を貸与し、検証に取り組んでいる。スクールバスは子供の安全を守る有効な手段だが、様々な課題を含めて、町に適した方法を模索したい。

オリンピック会場恒久的施設は

答 多目的の施設を検討

問 6月7日に組織委の森会長、県知事が釣ヶ崎海岸を視察した。

この時、知事から釣ヶ崎海岸に自然公園を県で整備するとの発言があった。町長も恒久施設を検討と発表された。どんな施設を作る考えを伺う。

町長 知事からの発言もあり、町としては、自然公園の規模に見合った恒久的な施設として、公園利用者、海岸利用者が広く使える、多目的のスペース、トイレ、更衣室を備えた施設の建設を検討していく。

南総一宮線整備・ルート変更は

答 最善の方向へ進めたい

問 町長は、南総一宮線整備事業のルート変更について発言しているが、これは住民や議会への説明もなく、唐突である。

すでに、用地買収や工事もある程度進んでいる段階で、このような話が出てくることは、事業の進捗に大きな影響を与えかねない。南総一宮線のルート変更の発言を撤回する意思があるのか。

また、この発言により事

業の進捗に影響が出た場合、責任はどうするのか。

町長 南総一宮線バイパスの市街地までの延伸は、町の今後を大きく左右する事業と考えている。今後、各方面からの要素を勘案し、最善の結果を導きたい。

また、責任は当然私にあり、最善の成果を導くことで責任をはたす。



早期完成が望まれる南総一宮線

運転免許証の 自主返納支援を

渡邊美枝子 議員



答 実効性の高い制度を考えたい

就学援助の入学準備金更なる拡充を

答 近隣市町村とのバランスで

問 国は、就学援助入学準備金の交付対象者に「入学予定者」を追加した。これにより、小学校の入学予定者にも支給することができるようになった。

答 当町でも小学校の入学前支給を求めるかどうか。

また、国は生活保護世帯への入学準備金の単価を倍増した。自治体の裁量に任されている準要保護の世帯も実態にあわせた増額を求めるかどうか。



教育長 今後、町でも中学校と同様に小学校の入学前支給を、早急に検討したい。

増額については、近隣の市町村の動向を確認しバランスを考えながら、不公平感のないようにしたい。

町長 支援制度の必要性は認識しているが、現在、具体的な制度はない。まずは、現状を把握して実効性の高い制度を考えたい。

問 運転免許証を返納する高齢者が増加している。当町でも、これを促進させる支援事業を講じてほしい。返納者には身分証明書として活用できる運転経歴証明書が交付されるが、この申請には1000円かかる。この手数料の全額助成など高齢者への支援制度をもうけるべきだが、どう考えるか伺う。



ゴミ袋代値下げを

答 新たな財政負担の検証が必要

問 長生郡市のゴミ袋代は県内で一番高額である。ゴミ袋の値下げ問題については、平成25年・26年に埒場議員によってとりあげられている。答弁は前向きであった。その後の進捗状況を伺う。

都市環境課長 ゴミ袋値下げについては、広域行政でも話題とされているが、新し尿処理施設の建設、ゴミ処理施設の延命化のための大規模改修事業、最終処分場建設など大きな事業が予定されており、新たな財政負担の検証が必要との意見などから合意に至っていない。



ゴミ袋代の値下げはできないのか

袴田 忍 議員



東口開設、寄付金増加策を

答 サイトによる募集を継続

問 4月18日の臨時議会で一宮駅東口開設の基本調査をJRに委託することが議決された。大きな前進である。

そこで以下について伺う。

- ① JR側から積極的な提案があったというが、具体的な内容を伺う。
- ② オリன்பピック開催を宣伝することで「ふるさと納税」の寄付金を呼びかけることも視野に入れてはどうか。

企画課長 ① 一階地上部に係員を置き、簡易スイカを設置し朝晩3時間程度開設する計画だったが、次の点が変更となった。
無人化して2階跨線橋に自動スイカ改札機を設置する。

それにより年間維持費が約1500万円から約760万円に削減される見込みである。

駅員詰所も設置不用となり、工事費と維持費が削減される。

始発から終電まで利用可能となる。

総務課長 ② 「ふるさと納税を活用して寄付金を募る」ことについて組織委員会に確認した結果、寄付金の募集にオリன்பピック開催の話題を利用することはできないことが分かった。今までもどおりのサイトによる募集が最も有効と考えられる。
活用方法について提案があればお願いしたい。



待たれる上総一ノ宮駅 東口改札

問題ないのか、機構改革

答 利便性・効率性向上を目指した

問 4月から実施した役場の機構改革について伺う。

者も考慮したことによる配置である。

- ① 組織・機構の見直しは特別な考えがあったのか。
- ② 課長補佐職を複数配置する課があるが、どういう意味なのか。
- ③ 課長が4人増えたが、人件費アップはどれだけか。
- ④ 職員数が増えない中で、管理職が増え、しわ寄せとなる部分があるのではないか。
- ⑤ 課長職の増による影響はないが、課が増えたことに伴い、各課の員数の変更による影響が多少考えられる。



こんな質問もありました
天道跨線橋通りの整備促進
高齢者運転免許返納を促す支援

町長 ① 役場で実際に仕事をを行う際の利便性・効率性アップなどを考えて、職員と慎重に議論を重ねた結果、たどり着いた形であり、より良い組織と判断し実施した。

総務課長 ② 課長補佐が複数あるのは、グループ制の導入により主査と主査補が多くなったこと、今後の管理職となるべき職員が少ないこと、近い将来の退職

住民への説明理解をどうする

藤乗一由 議員



答 ご理解ご協力をお願いしたい

問 一宮リアライズ（まちづくり会社）によるリノベーション事業に関して以下の点を伺う。

① 「すずみね」の事業経過を含めて説明を求める。

② 個人の所有物に多額の税金を投入する事業の進め方には、町民から信頼を得られておらず、疑念を抱かれています。今後どのように対処するのか。

③ 一宮リアライズによる今後の事業展開は。

企画課長 ① 中心市街地整備の課題は商店街の空き店舗対策で、商店街の活性化を図ることが目的である。平成31年度までに5件を目標として、「すずみね」から始めた。

これは、国が推進する「中心市街地活性化事業」で、地方創生加速化交付金の採択を受け、空き商店を調査し、再生計画を作り、改修する。個人所有の空き店舗を、国の100%の交付金と一宮リアライズの出資金とで改修し、10年間借してもらい、一宮リアライズで賃貸する。

商工会への説明や商店街を一軒ずつ廻り、意見を伺うと、商店街が盛り上がるという賛同の声を多くいただいた。これにより商店街を活性化させたい。

③ 今後の空き店舗改修の資金面については一宮リアライズ独自で進める。

町長 ② 「すずみね」は、内閣府が推進する地方創生事業である。全国で空き店舗は増加し、この事業を実施する市町村は多い。町活性化のためにも町民のご理解ご協力をお願いしたい。

③ 27年10月に作成した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、官民連携でまちづくり会社を設立し、地域課題解決に向けた事業を行い新規事業や雇用を促進する。

今後、町ではリノベーション事業を一宮リアライズと共に進めたい。

保育料算定誤りの経緯と対応は

答 速やかな広報に努める

問 保育料の算定間違いによる追加徴収について、問題の経緯と広報の方法に関して説明を求める。

今後の対応、対策を伺う。

道機関への情報提供、町HPへの掲載をし、速やかな情報提供に努め、広報6月号に記事を掲載した。

今回は、対象者が限られるため、個々の家庭へお詫び後、新聞発表と町HP掲載で対応したが、多くの住民に関わる問題などには、区長回覧等速やかな広報に努める。

福祉健康課長 平成27・28年度保育料の算定誤りによる過少徴収が判明した。27年度に導入した新システムの設定誤りが原因である。原因を確認後、該当する家庭には連絡・訪問等を行い、お詫びと納付のお願いをした。

また、議会への報告と報

こんな質問もありました
広報一宮5月号掲載の「一宮どろんこ保育園」に関する記事について伺う



すずみね 7月8日
屋根の下カーゴにて

一般質問

藤井幸恵 議員



町は十分な監督指導を

答 定期的に指導監査を実施する

問 一宮どろんこ保育園の開園から2ヶ月が過ぎた。そこで以下の点を伺う。
 ① 給食の食材及び食材の納入業者の選定はどうしているか。
 ② 保育・教育の継承、保護者への説明責任その他の協定内容は守られているか。
 ③ 職員の就労状況は問題ないのか。
 ④ 町は、運営の監督指導をどのようにしていくのか。

福祉健康課長 ① 現在は、町外の給食食材卸業者から一括仕入れしている。7月より町内1業者と、米はJAと協議中である。順次業者を増やしていくとのことである。
 ② 協定内容のうち、年間行事は、現在ほぼ守られており、保育内容が向上した部分もある。
 保護者との意思疎通の点で、園の説明不足、三者協議会の協議内容が共有されなかったなどもあり、保護者に戸惑いが発生した。

三者協議会で、ひとつずつ解決するよう協力する。
 ③ 法人では、保育士の勤務管理をアプリで行い、本部とも状況を共有している。
 開園直後は、職員の負担が多かったが、5月より順次、事務職員1名、給食調理員1名、用務員2名を新規採用し、負担軽減に努めている。
 ④ 保護者・事業者・町の三者からなる三者協議会の会長に町長が就任した。今後は、町に根付くように定期的に指導監査を実施していく。



町長公約の進捗状況は

答 市街地活性化など取組み中

問 町長の就任から1年が過ぎた。選挙前の公約について、以下の点を伺う。
 ① 自主財源を増やす見通し、手立てはついたのか。
 ② 公約はどの程度取り組んでいるのか、進捗状況を伺う。
 ③ 「世界サーフィン保護区」への取り組みはその後どうなったか。

町長 ① 産業の強化として、商店街、農業の活性化に取り組み中である。住民税についても、千葉銀行主催の移住フェアに参加し、一定の成果があった。事業者の本社移転については、今後も有利な条件を設定し、促してゆく。
 ② 公約については、以下の項目等が現在進行中である。
 ・リノベーションによる市街地の活性化の推進。
 ・駅前観光案内所の開設。
 ・循環バスの継続と増進。

・保育園の移転民営化を具体化し推進。
 ・アクティブラーニング推進と国際交流の活動。
 ・一宮駅東口開設のための基礎調査を開始。
 ・99人委員会を設置予定。
 ・英会話教室の開始など。
 ③ 今後、関係団体の理解を得て、議会にも諮る。



新たに建設が予定される駅前観光案内所

一宮リアライズの内容を問う

答 町の地方創生事業を担っている



鵜野澤一夫議員



リノベーションにより生まれ変わった商店「すずみね」

問 地方創生事業で昨年8月に一宮リアライズが設立された、以下を伺う。

① 町商工会前の、すずみねのリノベーションにかかわる国からの交付金と入札の経緯、内容は。

② 一宮リアライズの貸借対照表と決算報告書の内容、及び取締役会議の開催状況は。

③ 専任スタッフでもある町非常勤職員雇用の人件費の負担はどうか。

④ すずみね、一宮リアライズの納税義務と新事務所の所在地は。

企画課長 ① すずみねリフォームの入札は、国の交付金約2000万円を原資の一部として、町内業者3社、茂原業者1社で行った。

約80万円差の約2400万円で茂原業者が落札した。柱、梁、基礎の躯体の

腐食により、追加工事費300万円が必要となり、計2700万円となった。

② 町も出資しているもので、決算書等は株主総会終了後に公開する。

取締役会は前期3回、その他会議は12回実施した。

③ 専任スタッフの人件費は、国からの交付金が昨年100%、29年度50%あり、他は町が負担している。30年度まで国の助成が予定されている。

非常勤職員の出勤簿は町にあり、その他の作業、業務日報はない、町での仕事内容は一級建築士の資格をいかして地方創生事業の仕事を手伝っている。

④ 今回の事業では、地主の負担額はなく、固定資産税が課税される。

「一宮リアライズ」には、法人税、所得税が発生し、法人の事務所所在地は、5月1日付けで「すずみね」に移動した。

「いじめ問題」町はどのように対応する

答 町・学校・家庭との連携をはかる

問 「いじめ問題」は大きな問題となっており、当町でも最近「いじめ」があり、教育委員会は心配り、思いやりをもった素早い対応をすべきである。

今後、いじめが二度と起こらないようにするための対策を教育長に伺う。

教育長 教育委員会としては、いじめは必ず起こるものと認識しており、「一宮

町いじめ防止対策推進条例」を策定し、「学校いじめ防止基本方針」を、各学校ごとに作成し防止に取り組んでいる。

いじめアンケートを月1回行い、いじめを未然に防ぐため、道徳集会、いじめ防止集会、一宮町児童生徒育成委員会などを開き、町、学校、家庭との連携を図ることでいじめの再発防止に努める。

畑場博敏
議員



町の戦跡など平和に 生かす活用を

答 風化させない取り組みを検討

問 最近の平和をめぐる動きで国連でも核兵器禁止条約が決議されようとしている。一方で核保有国と日本政府は条約制定に背をむけている。

国内政治では安保法制の強行採決や共謀罪の強行可決など国民の議論が大きく分かれている中、数の力の強行政治が繰り返されておられ、非核平和の町づくりの意識が高まっている。平和行政への決意、町にある戦跡などの保存、活用を考え平和に生かす取り組みを伺う。

町長 町では非核平和都市宣言や平和首長会議への加盟、庁舎内での広島・長崎原爆写真展・一宮中校庭に被爆クスノキの植樹等に取組んできた。

世界唯一の被爆国という立場から、核兵器のない世界の実現を訴えることは、大変重要であると認識している。戦争や核兵器による悲惨な記憶は、決して風化させなくてはならず、繰り返してはならない事であり、戦跡等もあるので様々な取り組みを検討したい。



戦跡を保存し後世へ(洞庭湖付近)

希望ある農政へ引続き要請を

答 地域の声を伝えたい

問 米をめぐる情勢は生産費と実際手取米価の差額が町全体で毎年一億円以上落ち込んでいる状況が続いている。

加えて外来有害動植物であるジャンボタニシの食害と駆除対策も切実であり、今年いっぱい廃止される個別所得保障制度の継続とあわせ対策を強く求めたい。

食料自給率の向上と米の生産コストを保障する政策への転換を引き続き求め、少しでも希望のある農政へと要請活動を続けてほしいが、どうか。

町長 5月に農業競争力強化支援法が成立し、生産資材業界や流通加工業界での事業再編が図られるが、地域の農業発展につながるよう求めたい。国への働きかけは再度、郡町村会に提起し、地域の声を伝えるよう努力したい。



ジャンボタニシ被害は深刻

産業観光課長 所得保障制度は、今年度までの時限措置でこれに代わる対策はない。

ジャンボタニシ対策は未だ有効策はないが県に再度対策を促したい。

特別表彰

町村議会議員として多年にわたり、地方自治の振興発展に貢献された功績が認められ、千葉県町村議会議長会長より、特別表彰を受けました。(平成29年5月25日付)



秦 重悦 議員 島崎 保幸 議員

あなたも議会を
傍聴しませんか!
次回は9月15日(金)
午前9時からの予定です

表紙紹介

少年剣道『一宮尚武会』は、園児・児童・生徒が、全国大会を目指して日々稽古に励んでいます。

一宮町体育協会に所属し、本年度で創立50周年です。

10月29日に、関東近隣の強豪チームを招いて記念大会を行います。ぜひとも応援をお願いします。

見学体験等、お気軽にお越しください。

稽古日 火・木：18:30～21:00

水・金：19:00～21:00

土：18:00～21:00

稽古場所 振武館

連絡先 090-4125-9739 (河野)



編集後記

藤井幸恵 記

議会だよりの中でも、大きく紙面を割いているのが、各議員による一般質問です。

一般質問の進め方は、町村により様々なルールがありますが、当町では「同一テーマに関する質問は2回まで」というものがあります。つまり「議員の質問↓答弁↓再質問↓再質問に対する答弁」という2回のやり取りの中で、質問の核心にせまり、本当に聞きたい芯の部分を行行政から引き出さなければならぬので、各議員自ずと力と熱が入ります。

一般質問は、町長の所信を質したり、今町が進めている事業や今後予定される事業を、広く知らしめたり、一緒に考える機会にもなり、議員を選ぶ際の目安にされている方も多いと思います。再質問に対する答弁の

後、議員が最後に発言する場合もありますが、実はそこにこそ、各議員が一番言いたかった言葉が込められています。ぜひ臨場感あふれる議会の傍聴にいらしてください。私たち議員の生の声をノーカットで聞いていただきたいのです。そして、がっかりされない一般質問をしつかりやろう！と、自分にも喝を入れたいと思います。

発行：一宮町議会

編集：議会報編集委員会

〒299-4396

千葉県長生郡一宮町一宮2457

電話 0475(42)1421(直)